

## 連続性のある塗絵線画によるグループ芸術療法

益田 勤\*

### Group Art Therapy by Using Sequential Line-figures for Coloring

\*Tutomu Masuda,

\*Ishijima Clinic, psychiatric doctor

#### キーワード

連続性のある塗絵線画 sequential line-figures for coloring

表現療法 art therapy

グループワーク group work

ナラティブ・ベイスト・メディスン Narrative Based Medicine(NBM)

### 1. はじめに

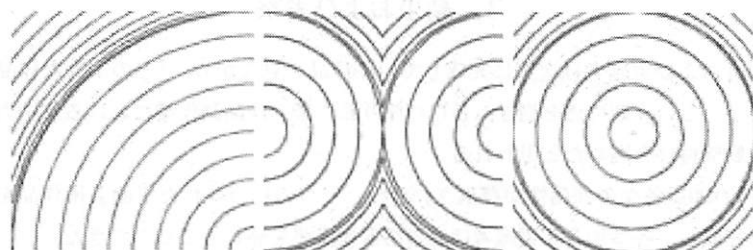
近年、精神保健医療においても治療－看護構造が専門化する一方で、治療－看護する者と治療－看護される者という一方通行的治療～看護構造が、患者に没個性的存在感を抱かせ、自己治癒（自然治癒）過程の妨げになる場合も生じて来ている。例えば当学会（日本保健医療行動科学学会）などにおいても、この硬直した治療構造を双方向的な構造に再構築しなおし、個性的な存在感を認識・共感しあうことで、より深いレベルでの癒し効果、より広い意味でのノーマライゼーション効果を引き出すための様々な試みが検証、報告されている。今回、第21回当学会の体験学習ワークショップの場を借りて、塗絵を用いた（1）グループワークで、いわゆるナラティブ・セラピー（2）（患者の個性－人間性尊重治療）を試みたので報告する。

---

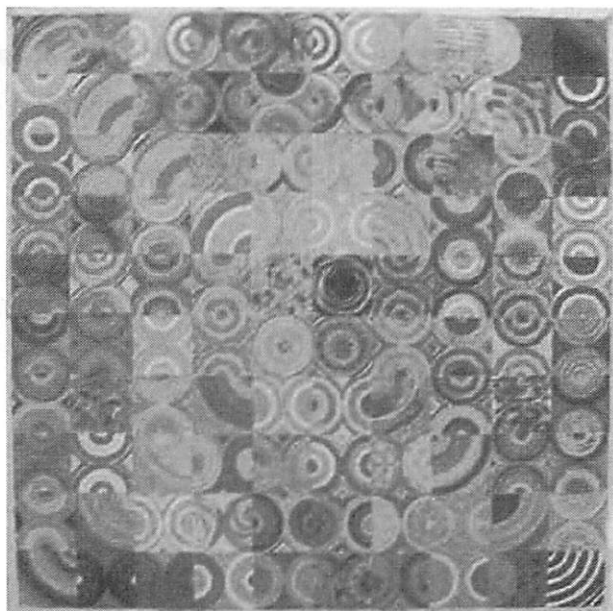
\*石島診療所、精神科医

## 2. 方法

- 1) 実施者も含めて参加人数11名。
- 2) 所要時間約60分。
- 3) 実施者の作成した、連続性のある9cm四方の塗絵線画3種(図1)。
- 4) 3)の線画100枚をパッチワーク様につなぎ合わせて90cm四方に配置構成して、作業テーブルの中央に並べて、出来上がりを各参加者にイメージしてもらった。ま



(図1)



(図2)

- た、完成作品をインターネット上で公開する（3）という説明を行った。
- 5) 各参加者はその塗絵線画を任意の場所から任意の枚数を選びとり、12色のクレパスで彩色を行った。
  - 6) 実施者も当初塗絵作業に数枚参加したが、後は塗り終わった塗絵作品を順次、壁面に用意された台紙の上に、色彩のハーモニーに配慮しつつ貼付した。
  - 7) 90cm四方の平面作品の制作過程を各参加者および実施者は観賞しながら、完成させた（図2）。

### 3. 結果および考察

参加者および実施者は次第に完成していく作品を見ながら、「どのような作品ができるのか」という期待感を抱き、各自の塗り絵作業、作品制作業における集中力、創作力、動機付けを高めたと思われる。

塗り絵100点各々の独創性が尊重されつつ、一つの統合された平面芸術作品を共同作業で完成し、各参加者と実施者は連帯感と達成感を感じることができた。

作品をインターネット上で公開展示すると事前に説明することも、各参加者の創作意欲を高めたと思われる。

今回の作品制作では、（実施者以外は初めての創作体験で）、全員から新鮮な感動を得たとのコメントを得たが、この種の治療法も実施者および参加者の陥り易いマンネリズムを乗り越える工夫をしていくのが肝要と思われた。

### 4. まとめ

今回の体験をふまえて、実施者は更に効果的な線画(4)作りを続けていく予定であると同時に、自己表現手段の道具としても有用であるインターネットを介しての塗り絵による表現療法(5)の有用性を模索していきたい。

文献

- 1) 益田勤：塗絵による表現療法，  
<<http://www.kinzo-net.com/gall.kinzo/8less/989notenurie.html>>，  
2003. 10. 29
- 2) 中川晶，心療内科医のメルヘン・セラピー，236，講談社，東京，2003
- 3) 益田勤：塗絵ピースワーク作品ギャラリー，  
<<http://www.kinzo-net.com/gall.kinzo/5ljow/51list%20.html>>，  
2004. 11. 15
- 4) 益田勤（KinZo）：塗絵ピースワーク線画ギャラリー，  
<<http://www.kinzo-net.com/gall.kinzo/07lif/07list.html>>，2005. 11. 19
- 5) 益田勤：つながる塗絵御投稿ギャラリー，  
<<http://www.kinzo-net.com/gall.kinzo/20cc/20list.html>>，2006. 6. 7